

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-12-26

論文リスト(経営工学科) : 40巻

(出版者 / Publisher)

法政大学工学部

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

法政大学工学部研究集報 / 法政大学工学部研究集報

(巻 / Volume)

40

(開始ページ / Start Page)

94

(終了ページ / End Page)

98

(発行年 / Year)

2004-03

永野 俊

論文

- 1) 平原誠, 永野俊 (2003.9) 2方向運動刺激による運動残効のコントラストおよびスピード依存性. 日本神経回路学会誌, 10, 3, pp. 130-138.

国際会議

- 1) Hirahara, M., & Nagano, T. (2003.7) A Neural Network for the Typicality Effects. Proceedings of International Joint Conference on Neural Networks 2003 (CD-ROM), pp. 2502-2505.
- 2) Nagano, T., Hirahara, M., & Eguchi, H. (2003.7). Submodular Neural Network is better than Modular Neural Network and Support Vector Machines for Personal Verification. Proceedings of International Joint Conference on Neural Networks 2003 (CD-ROM), pp. 2152-2156.

国内学会

- 1) 平原誠, 永野俊 (2003.9). 2方向運動刺激による運動残効のコントラストおよびスピード依存性. 日本神経回路学会第13回全国大会論文集, pp. 36-37.
- 2) 平原誠, 石本正紀, 小木智文, 加々美武史, 永野俊 (2003.3). 2方向運動刺激による運動残効のスピード依存性. 電子情報通信学会技術研究報告, NC2002-221, pp. 107-112.
- 3) 今川喬, 平原誠, 永野俊 (2003.3). 手形による個人認証—認識手法の比較—. 電子情報通信学会技術研究報告, NC2002-155, pp. 131-136.
- 4) 廣瀬陽介, 平原誠, 永野俊 (2003.3). 教師付き独立成分分析による音声の感情認識. 電子情報通信学会技術研究報告, NC2002-152, pp. 113-118

浦谷 規

著書

- 1) 「グローバル・プロジェクトのOR」日本オペレーションズ・リサーチ学会, 2003年3月, pp. 53-74

翻訳

- 1) 「プロジェクト・ファイナンス—ベンチャーのための金融工学」朝倉書店, 2003年1月

口頭発表

- 1) 「PFIとOR-BOTを中心として—」チュートリアル・セッション 日本OR学会2003年度秋季研究発表会アブストラクト集, 2003年9月

福田 好朗

査読論文

- 1) Y. Fukuda, T. Kurahashi, Y. Kamio, Web-Based

Operation Instruction System Using Wearable Computer, Global Engineering and Manufacturing in Enterprise Networks, VTT Technical Research Center, pp. 169-178, 2003年2月

- 2) Y. Kamio, F. Kasai, T. Kimura, Y. Fukuda, I. Hartel, M. Zhou, Remote Maintenance Support in Virtual Service Enterprises, Global Engineering and Manufacturing in Enterprise Networks, VTT Technical Research Center, pp. 195-206, 2003年2月
- 3) K. Kasahara, K. Morita, K. Kawashima, Y. Fukuda, Web-Based Simulation Environment Through Production Life Cycle-WISE, Global Engineering and Manufacturing in Enterprise Networks, VTT Technical Research Center, pp. 353-362, 2003年2月
- 4) P.K.Jain, Y. Fukuda, M. Yamamoto, T. Fukuma, Manufacturing system development framework using a data models driven approach, International Journal of Production Research, Vol.41, No8, pp. 1785-1809, 2003年5月

国際会議

- 1) K. Mitsuyuki, S. Reis, F. Kubota, Y. Fukuda, E. Arai, Manufacturing System Simulation Environment for KAIZEN Activities Based on the Operation Data, Proc. Of 36th CIRP International Seminar on Manufacturing Systems, pp. 405-410, 2003年6月
- 2) H. Hibino, Y. Fukuda; A User Support System for Manufacturing System Design Using Distributed Simulation, Proceedings of the IFIP WG5.7 Working Conference on Human Aspects in Production Management, Current Trends in Production Management, Volume 2. pp. 117-123, 2003年10月

解説論文

- 1) 福田好朗, 「情報技術オープン化システムの製造業から住環境への展開の可能性について」, 建築設備, 第54巻, 第2号, pp. 20-25, (社)建設設備総合協会, 2003年2月
- 2) 福田好朗 「デジタルエンジニアリングの現状と動向」, 日本機械学会誌, 第106巻, 第1013号, pp. 230-233, 2003年4月
- 3) 福田好朗, 「製造業におけるオープン化とXML推進への取り組み」, オートメーション, 第48巻, 第5号, pp. 18-21, 日刊工業出版プロダクション, 2003年5月
- 4) 福田好朗, 「製造業システムのオープン化の動向」, ロボット, 第155号, pp. 1-4, 2003年11月

口頭発表

- 1) 福田好朗, 「ITで変わり続ける現場」, 第一線監督者の集い2003, 日本能率協会, 2003年1月
- 2) 福田好朗, 「国際標準化と研究開発」, 平成14年度IMS動向調査報告会, 製造科学技術センター, 2003年1月
- 3) 日比野浩典, 福田好朗, 「生産システムにおける分散シミュレーション支援システムの研究」, 2003年精密工学会春季学術講演会講演論文集, 2003年3月
- 4) 明治毅, 福田好朗, 「Web環境によるシミュレーション結果の外部表現」, 日本機械学会生産システム部門講演会, 2003年3月
- 5) 高橋秀徳, 福田好朗, 「生産システムにおけるシミュレーションとスケジューリングの連携の提案」, 日本機械学会生産システム部門講演会, 2003年3月
- 6) 福田好朗, 「SCM構築とその課題 何がSCM構築を阻害しているか」, 日本能率協会先端企業研究会, 2003年5月
- 7) 福田好朗, 「新生産システム実現への課題」, 日本機械学会生産システム部門先端技術フォーラム, 2003年6月
- 8) 木村利明, 笠井文雄, 福田好朗ほか, 「仮想企業ネットワークによるアフターセールス支援システムの構築」, IMS国際共同研究成果報告会論文集, 2003年7月
- 9) 福田好朗, 西岡靖之, 木村利明ほか, 「仮想企業ネットワークにおけるエンジニアリングのアーキテクチャと統合デモンストレーション」, IMS国際共同研究成果報告会論文集, 2003年7月
- 10) Y. Fukuda, Information Object Modeling and Profiling for Industrial Automation System, International Meeting in ISO/TC184/SC 5 /WG6, 2003年8月
- 11) 福田好朗, 「ものづくりにおける最適な生産システム」, 生産システム研究会, (社) 中部IE協会, 2003年8月
- 12) 福田好朗, 「トレーサビリティシステムについて」, 食の安全・安心に関する地域フォーラム, 総理府沖縄総合事務局農林水産部, 2003年9月
- 13) 福田好朗, 「トレーサビリティシステムについて」, 食の安全・安心に関する地域フォーラム, 農林水産省東北農政局, 2003年10月
- 14) 福田好朗, 「トレーサビリティシステムについて」, 食の安全・安心に関する地域フォーラム, 農林水産省近畿農政局, 2003年10月
- 15) Y. Fukuda, Guideline for Traceability System on the Food Chain, 2nd International Meeting in ISO/TC34/WG9, Milan, 2003年11月

- 16) 福田好朗, 「国内工場における高付加価値ものづくりへの挑戦」, 日本能率協会, 先端企業研究会, 2003年11月

藤田 昌彦

論文

- 1) 雨海明博, 藤田昌彦: 視覚運動統合学習の認知的切替. 電子情報通信学会論文誌 D-II, Vol. J86-D-II, No.10, pp. 1480-1489, 2003.

口頭発表

- 1) 青木美奈, 水野史浩, 藤田昌彦, “サッカー適応の指標色依存性の検討”, 電子情報通信学会技術研究報告 (ニューロコンピューティング研究会) NC2002-220 (2002年3月)
- 2) 藤田昌彦, 塩井高行, 瀧川敦史, 雨海明博: 両耳マスキングレベル差に対するノイズ遅延効果. 日本音響学会聴覚研究会資料, 33, 3, H-2003-24 (2003.5.30).
- 3) Fujita, M., Hagiwara, E., Amagai, A.: Effect of delayed visual feedback on visuo-motor integration. 6th IBRO Abstract 2224, 2003.7.12.
- 4) Fujita, M.: A model of the cerebellar function for the adaptive control of saccades. 26th annual meeting of the Japan Neuroscience Society Abstract S159, 2003. 7. 24
- 5) Fujita, M., Amagai, A.: Human saccadic fatigue and its selective compensation. 12th ECEM Abstract PA28, 2003.8.21.
- 6) 藤田昌彦: サッカー適応の小脳系モデル. 第13回日本神経回路学会全国大会, 2003. 9. 8.
- 7) 藤田昌彦: 小脳vermis仮説に基づく適応時定数の考察. 電子情報通信学会技術研究報告 (ニューロコンピューティング研究会) NC2003-56 (2003年10月23日)
- 8) Fujita, M.: A theory of saccade adaptation by the cerebellum. Society for Neuroscience Abstract 441.7 (2003.11.10)

後藤 公彦

論文

- 1) 後藤公彦, 「e-learningによる定量的経済学の教育実験報告-オンライン・コンピュータテスト (OCT) によるDerivativesのリアルタイム情報技術教育研究」, 法政大学工学部研究集報, 第38号, 2003年3月
- 2) 後藤公彦, 酒井義隆, 林賢太郎, 「オンライン・コンピュータテスト (OCT) によるリアルタイム情報技術教育の実験実施-法政大学教学改革・

定量的経済学部門」, Vol. 9, 2003, 教育情報システム学会誌, 教育情報システム学会全国大会, 茨城大学水戸キャンパス, 2003年8月

- 3) Kimihiko Goto, "Innovation of Economics Education through Internet. LAN. Online Computer Tests (OCT), Notes (OCN), and Reports(OCR)", Online Education Research Institute, Feb., 2003
- 4) 後藤公彦, 「INTERNET利用による経営学講義のありかたについて - 法政大学教学改革・定量的経営学部門」, 教育システム情報学会, 2003年8月

口頭発表

- 1) Kimihiko Goto, "AN APPLICATION OF THE ITO PROCESS AND DERIVATIVE THEORIES TO EVALUATE SOCIAL COSTS", Life Science Academic Institution., July, 2003

講演

- 1) 後藤公彦, 「インターネット・LANおよび多変量解析を用いた経営学定量化についての研究」, インターネット教育研究会, 東京大学工学部, 2003年11月
- 2) Kimihiko Goto, "Quantitative Business Administration through Internet and LAN. -A case study at the Hosei University", Japanese Society for Information and Systems in Education, Aug, 2003

中村 洋一

論文

- 1) 「社会保障・税制改革による成長基盤の確保」, 八代+日本経済研究センター編『社会保障改革の経済学』, 東洋経済新報社(2003年1月)
- 2) 「財政赤字, 公債と家計消費」, 麗澤大学経済社会総合研究センター, WP No.10(2003年3月)
- 3) 「貯蓄率低下の意味を考える」, 日本経済研究センター会報(2003年6月)
- 4) 「国民経済」, 「国際経済・貿易」, 「金融」, 『統計でみる日本2004』, 日本統計協会(2003年10月)

講演・その他

- 1) 「日本のマクロ経済モデルについて」, 国連アジア太平洋統計研修所(2003年2月)
- 2) 「日本経済の諸論点」, 厚生年金基金連合会(2003年5月)
- 3) 「93SNAの所得支出勘定について」, 内閣府経済社会総合研究所国民経済計算部(2003年7月)
- 4) 'Building a Macro Economic Model', APEC Seminar on Energy Modeling(2003年11月)

西岡 靖之

論文

- 1) Y. Nishioka, et al, A Planning and Scheduling Integration Platform for Operational Virtual Enterprises, Global Engineering and Manufacturing in Enterprise Networks: GLOBEMEN, VTT Technical research center of Finland, pp. 277-286, (2003)
- 2) 西岡靖之, 製造業における分散協調スケジューリングの位置付け, 人工知能学会誌, Vol. 18, No. 6, pp. 733-788 (2003)
- 3) 西岡靖之, PSLX: 生産計画・スケジューリングの標準仕様, I M S, Vol. 14, No. 4, pp. 17-22 (2003)
- 4) 西岡靖之, PSLXで実現するモノづくりの復権—日本発 I S O 標準へ向け—, プラントエンジニア, Vol. 35, No. 9, pp. 19-25 (2003)
- 5) 西岡靖之, 製造実施システム(MES)と生産スケジューラとの協調, 機械の研究, No. 55, No. 7, pp. 8-13 (2003)
- 6) 西岡靖之, PSLX: 生産計画/スケジューリング関連の情報記述標準化への取り組み, オートメーション, No. 48, No. 5, pp. 25-27 (2003)
- 7) 西岡靖之, 生産計画・スケジューリングのための標準仕様, スケジューリングシンポジウム2003講演論文集, pp. 16-20 (2003)

著書

- 1) 西岡靖之(共著), PSLXコンソーシアム技術仕様書, PSLXコンソーシアム(2003)
- 2) 西岡靖之, 製造業の課題とPSLXソリューション, XMLビジネス白書2004, pp. 180-181 (2003)
- 3) 西岡靖之, 生産スケジューリングの最新動向, 機械と工具No. 47, No. 8, pp. 14-18 (2003)
- 4) 西岡靖之, 生産システム, 日本機械学会誌, Vol. 106, No. 1017, pp. 75-77 (2003)
- 5) 西岡靖之, 生産現場の情報分断をなくせ(3)—標準化の流れはもう止まらない, 日経デジタルエンジニアリング, No. 65, pp. 114-117 (2003)
- 6) 西岡靖之, 生産現場の情報分断をなくせ(2)—一切替に柔軟に対応できる連携を, 日経デジタルエンジニアリング, No. 64, pp. 136-139 (2003)
- 7) 西岡靖之, 生産現場の情報分断をなくせ(1)—システムの壁が生産性向上を阻む, 日経デジタルエンジニアリング, Vol. 63, pp. 122-125 (2003)

口頭発表

- 1) 西岡靖之, 多田純, 工程の種類を管理レベルを加味した生産リードタイムの見積方法, 日本経営工学会秋季大会講演論文集, pp. 24-25 (2003)
- 2) 西岡靖之, 齊藤寛和, 受注生産における簡易型資源予約システムの開発事例, 日本経営工学会秋季

大会講演論文集, pp. 220-221 (2003)

- 3) 茂木美恵子, 西岡靖之, 中間拠点の製造計画を加味した在庫輸送問題の定式化 (2003) 年日本オペレーションズリサーチ学会秋季研究発表会予稿集, pp. 44-45 (2003)
- 4) 西岡靖之, 久保琢磨, JAVAを用いたメタヒューリスティクス汎用クラスの開発, 2003年日本オペレーションズリサーチ学会秋季研究発表会予稿集, pp. 250-251 (2003)
- 5) 遠藤俊輔, 西岡靖之, 混載輸送を考慮に入れた複数工場協調スケジューリング, 日本機曾学会生産システム部門講演会2003講演論文集, pp. 29-30 (2003)
- 6) 福田好朗, 西岡靖之, 他, 仮想企業ネットワークにおけるエンジニアリングのアーキテクチャと統合デモンストレーション, 2003年度IMS研究成果講演論文集, pp. 85-88, (2003)
- 7) 木村利明, 西岡靖之, 他, 仮想企業ネットワークによるアフターセールス支援システムの構築, 2003年度IMS研究成果講演論文集, pp. 89-92 (2003)

その他 (招待講演)

- 1) Nishioka, Y.: Collaborative Agents for Production Planning and Scheduling : A Challenge to Develop a New Software System Architecture for Manufacturing Management in Japan, 17th International Conference on Production Research, Blacksburg Virginia (2003)

木村 光宏

論文

- 1) S. Yamada, A. Nishigaki, and M. Kimura, "A stochastic differential equation model for software reliability assessment and its goodness-of-fit", International Journal of Reliability and Applications, Vol. 4, No. 1, pp. 1-11 (2003).
- 2) 木村光宏, 「ソフトウェアの定量的な脆弱性評価モデルの構築と電子メール配送ソフトウェアに対する適用の試み」, 日本信頼性学会誌 (信頼性), Vol. 25, No. 3, pp. 279-287, (2003年5月).
- 3) M. Kimura and S. Yamada, "A hidden-Markov estimation method for mean-shift detection of fraction defective in production process control", Mathematical and Computer Modelling, Vol. 38, Nos. 11-13, pp. 1293-1301 (2003).

著書

- 1) M. Kimura and S. Yamada, "Software reliability management technique and their tool", in Reliability Engineering Handbook, H. Pham, Ed.,

Chapter 15, pp. 265-284, Springer-Verlag, London (2003).

国際会議

- 1) M. Kimura and S. Yamada, "Reliability analysis of 3-version programming system with an intelligent voter", Proceedings of Ninth ISSAT International Conference on Reliability and Quality in Design, Hawaii, U.S.A., August 7-9, pp. 127-131 (2003).
- 2) Y. Tamura, S. Yamada, and M. Kimura, "Comparison of software reliability assessment methods based on neural network for distributed development environment", Proceedings of Ninth ISSAT International Conference on Reliability and Quality in Design, Hawaii, U.S.A., August 7-9, pp. 1-5 (2003).
- 3) Y. Tamura, S. Yamada, and M. Kimura, "A software reliability assessment tool based on optimal software release problems for distributed development environment", 2nd International Conference on Quality, Reliability and Information Technology (Trends and Future Directions), New Delhi, India, December 18-20, p. 56 (2003).
- 4) M. Kimura, "Software vulnerability assessment modeling and its practical application to the sendmail system", 2nd International Conference on Quality, Reliability and Information Technology (Trends and Future Directions), New Delhi, India, December 18-20, p. 61 (2003).

口頭発表

- 1) 木村光宏, 山田茂, 「バリエーションの信頼度推定機能をもつ3バージョンプログラミングシステムの信頼性解析」, 信学技報, R2003-15, pp. 1-5, (2003年5月).

平原 誠

論文

- 1) 平原誠, 永野俊 (2003.9), 2方向運動刺激による運動残効のコントラストおよびスピード依存性, 日本神経回路学会誌, 10,3,pp. 130-138.

国際会議

- 1) Hirahara, M., & Nagano, T. (2003.7). A Neural Network for the Typicality Effects. Proceedings of International Joint Conference on Neural Networks 2003 (CD-ROM), pp. 2502-2505.
- 2) Nagano, T., Hirahara, M., & Eguchi, H. (2003.7). Submodular Neural Network is better than Modular Neural Network and Support Vector Machines for Personal Verification. Proceedings

of International Joint Conference on Neural Networks 2003 (CD-ROM), pp. 2152-2156.

国内学会

- 1) 平原誠, 永野俊 (2003.9), 2方向運動刺激による運動残効のコントラストおよびスピード依存性, 日本神経回路学会第13回全国大会論文集, pp. 36-37.
- 2) 平原誠, 石本正紀, 小木智文, 加々美武史, 永野俊 (2003.3), 2方向運動刺激による運動残効のスピード依存性, 電子情報通信学会技術研究報告, NC2002-221, pp. 107-112.
- 3) 今川喬, 平原誠, 永野俊 (2003.3), 手形による個人認証—認識手法の比較—, 電子情報通信学会技術研究報告, NC2002-155, pp. 131-136.
- 4) 廣瀬陽介, 平原誠, 永野俊 (2003.3), 教師付き独立成分分析による音声の感情認識, 電子情報通信学会技術研究報告, NC2002-152, pp. 113-118